

公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学 学長業績評価 評価書

1 評価

評定	評 価
A	良好な業績である

2 総評

教育については、分野横断的な創造性教育 STEAM 教育の強化をはじめ、芸術、語学、数理・データサイエンス・AI 教育などの分野で多様な講義科目を着実に開設し、具体的な取組を推進している。工学部に「数理情報科学科」を設置する届出、大学院に「薬学研究科薬学専攻博士課程」設置の認可申請など時代のニーズに即した高度研究人材の輩出を目指す積極的な事業展開は大いに評価できる。また社会が求めるデジタル人材の養成にあたっては、数理情報科学科の設置に留まらず、大学院教育の体制整備による社会人教育プログラムの作成や、薬学部においては DX の手法を活用したデジタル教育の取り組み等、時代の動向や社会的要請に的確に対応している。中期計画及び年度計画の教育に関する各項目の実施状況は、順調に推移している。

研究については、市内公的機関及び企業から提案された地域課題の解決を目的とした「地域課題解決研究事業」に取組み、学内研究成果報告会を開催するなど、地域貢献型の継続的な事業として確立させるとともに、地域産業界との共同研究を活発化することで、外部資金獲得に努力している姿勢がみられる。また、創発的研究を推進する科学技術振興機構（JST）の支援事業に採択されるなど、今後の研究の深化や多くの成果が生み出されることに期待する。なお、競争的研究費、科研費等の外部資金獲得のための研修会を通じて、推敲支援体制の確立に努め、科研費の獲得金額が中国地区公立大学中 1 位になるなど、高く評価できる。今後、科研費をはじめ競争的資金のさらなる増大や研究の高度化につながるような新たな施策を期待する。

社会貢献については、生涯学習センターの設置や、文部科学省「DX 等成長分野を中心とした就職・転職支援のためのリカレント教育推進事業」に選定されたプログラムの実施は、薬学部全体での協力体制により実現したものであると同時に、健康寿命の延伸をテーマとする市のスマイルエイジング事業にも呼応する形で、薬剤師のリカレント教育を通じた薬局の地域貢献機能の向上を目指すものとして、今後の展開にも大いに期待できる。また、「大学開放デー」を開催するなど、公立大学の特徴を生かし、地域との交流をもとに地域に根付いた施策が実施されている。多彩な取組みを通じて

の産学官連携や小中高大連携事業の展開、地域社会との交流は、知（地）の拠点としての大学の地域貢献活動として高く評価できる。

業務運営については、工学部に医薬品情報工学系の学科を設置する構想および経営計画を作成し、また令和6年4月に薬学研究科薬学専攻を設置するための認可申請を文部科学省に行うなど、中期計画に基づき、着実に実施している。

今後の展望については、教育改革や生涯学習の強化など、高等教育機関を取り巻く環境が加速度的に変化する中においても、時代やニーズに即した見直しを的確に実施しながら、研究学園都市の実現が着実に進められていくことを期待する。